

## 日 誌 (昭和40年11月)

## 【国 内】

- 1日 ○財政制度審議会、「財政運営の基本的方向について」および「歳出の合理化について」を政府に中間報告(要録参照)
- 8日 ○金融制度調査会、「国債発行に伴う金融制度の

- あり方」について政府に答申(要録参照)
- 15日 ○IMF対日年次協議開始(26日終了)
- 20日 ○政府、消費者米価の引上げ(平均8.6%)を決定(1月1日実施)

## 【海 外】

- 3日 ○ジョンソン米大統領、新農業法案に署名
- 4日 ○英国、造船会社に対する英蘭銀行の特別融資発表
- 5日 ○西ドイツ、年末金融対策として12月に限り準備率を1964年8月以前の水準に引き下げたことを発表(実施は12月1日から)
- 6日 ○米政府、最近のアルミ値上げを非難し、備蓄アルミ20万トンの放出を決定  
○フィリピン、公定外国為替相場を1米ドル=3.9ペソに変更(従来1米ドル=2ペソ)、同時に輸出代金20%集中制度を廃止
- 8日 ○カナダ、総選挙を実施、自由党過半数獲得に失敗
- 9日 ○米国東北部およびカナダの一部にわたり、長時間停電  
○米財務省、カナダ政府との間に、米国におけるカナダ起債を年内は見合わせることに意見が一致した旨発表
- 10日 ○アルコア社、アルミ値上げを撤回、他社もこれに追随  
○フィリピン、市中預金金利を引上げ
- 11日 ○英国、ローデシアに対する為替制限措置を実施

- 英国、所得政策の実施細目に関する白書発表
- 12日 ○ゴードン、カナダ蔵相辞任、シャープ現通産大臣、大蔵大臣代理を兼任
- 13日 ○ブラジル、明年1月1日からデノミネーションを実施と発表、現行1千クルゼイロと等価の1新クルゼイロを発表
- 16日 ○ブラジル、公定為替レートを切下げ(1ドル=1,850クルゼイロ→2,200クルゼイロ)  
○韓国、公定歩合を引上げ(商手割引歩合は10.5~16%から21%へ、前月号要録参照)
- 17日 ○米政府、銅価格上昇抑制のため、備蓄銅20万トンの放出、銅の輸出制限などを含む四つの措置を発表  
○L A F T A第5回年次締約国会議、モンテビデオにおいて開催
- 19日 ○ヘルプス・ドッジ社など、米国大手産銅会社、銅値上げを撤回
- 22日 ○インド、金融緩和措置の実施
- 29日 ○英国、輸入課徴金適用期間を1年間延長する法案、下院を通過  
○アジア開発銀行設立に関するエカフェ閣僚会議、マニラで開催(12月2日まで)